

2024年11月29日
株式会社オンワードホールディングス
秘書・広報室 広報 Div.



～あなたのオンワードの服が、「希望をつなぐ毛布」に～ オンワードの回収衣料品から生産したリサイクル毛布 4,000 枚を タジキスタンの貧困世帯へ寄贈

株式会社オンワードホールディングス（本社：東京都中央区 代表取締役社長：保元 道宣）は、当社の回収衣料品から生産したリサイクル毛布 4,000 枚を、日本赤十字社の協力のもと、タジキスタン赤新月社へ寄贈しました。11月27日（水）には、タジキスタン・ラシュト地区にて当社社員が現地の方々に直接リサイクル毛布を手渡す寄贈式を行いました。



当社では、「ヒトと地球(ホシ)に潤いと彩りを」というミッションステートメントに基づき、地球と共生する経営を推進しています。その一環として、ご愛用いただいた当社の衣料品を回収し、リユース・リサイクルを行う「オンワード・グリーン・キャンペーン」を 2009 年から実施しています。回収した衣料品の一部から生産したリサイクル毛布は、国内外の被災地や開発途上国などの支援先へ、2010 年から今回の寄贈を含めて累計 45,500 枚を寄贈しました。

第 14 回目の支援先であるタジキスタンは、中央アジアに位置する共和制国家で、近年は経済発展も著しく 2023 年の実質 GDP 成長率は 8.3%を記録しました。しかしながら、貧困率は依然として高く、中央アジアの中で最貧国に留まっており、国内の地域間格差が拡大し社会開発も遅れています。さらに、国土の約 93%は山岳地帯に分類され、その多くが地震地溝に沿って存在しているため、地震や洪水、地すべり、雪崩など複数の自然災害が多くタジキスタンの経済や社会的発展を脅かしています。

この度当社が寄贈したリサイクル毛布 4,000 枚は、タジキスタン赤新月社から、洪水などで家屋に大きな被害を受けた家庭、女性が唯一の稼ぎ手である家庭、多くの子どもや高齢者を抱える家庭、障がい者、結核の患者など、支援を必要とする方々に配布されます。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」では、これまでの約 15 年間で累計約 160 万名のお客さまから約 830 万点の衣料品を回収しました。回収した衣料品の一部から生産したリサイクル毛布は、今後も、国内外の被災地支援などに活用していく予定です。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」公式サイト URL：https://www.onward.co.jp/green_campaign/

■ 11月27日（水）に行われた寄贈式



式典の様子



毛布を配布する様子



■毛布を受け取ったイスカンドロワさん コメント



今日は毛布を寄贈していただきありがとうございます。
そしてサポートしていただいた皆さまに感謝します。

私たち家族は 5 枚の毛布をいただきましたが、
これからとても寒くなるのでとてもタイムリーな寄贈となりました。
2 枚は床に敷き、3 枚は寝具として、これからの厳しい冬
に活用します。

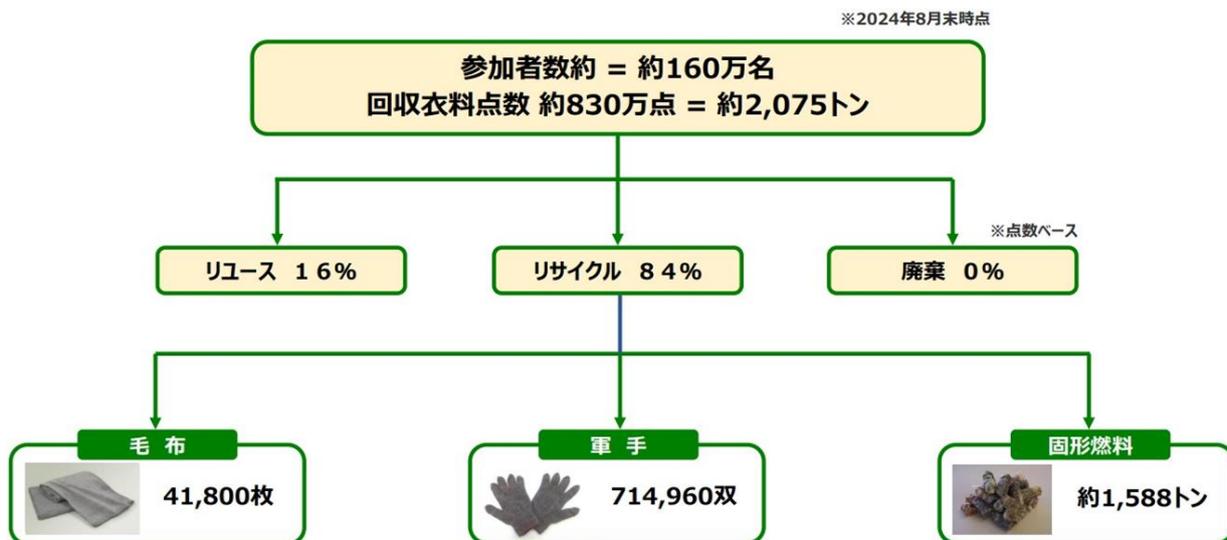
本当にありがとうございました。

■「オンワード・グリーン・キャンペーン」について

オンワードグループのサステナブル経営推進の一環として、ご愛用いただいた自社の衣料品を回収し、リユース・リサイクルを通じて、衣料品循環システムの構築を目指す取り組みです。2009 年にスタートし、2024 年度上期まで、累計約 160 万名のお客さまから約 830 万点の衣料品を回収しました。

回収した衣料品は、RPF（固形燃料）にリサイクルし代替エネルギーとして利用するほか、繊維製品の原料となるリサイクル糸を作り毛布や軍手を生産。毛布は、日本赤十字社の協力のもと、国内外の被災地や開発途上国への支援に活用しています。これまでに、東日本大震災被災地や中国・四川大地震被災地、生活困窮者の方々などへ累計 45,500 枚を寄贈しました。また、軍手は、災害支援、森林保全、啓蒙活動など様々な場面で配布しています。

さらに、まだ使用できる一部の衣料品は、環境コンセプトショップ「オンワード・リユースパーク」（東京・吉祥寺/EC サイト）にてチャリティー価格で提供し、その収益をサステナブル活動に役立てています。2023 年からは、地球と共生しながら、ファッションビジネスを元気にすることを目指す『Upcycle Action（アップサイクル・アクション）』をスタートしました。ファッション企業としてのクリエイション力を生かして、不要になった衣料品から新たな価値を生み出す取り組みです。



■リサイクル毛布の寄贈による支援活動実績

	【寄贈時期】	【寄贈先】	【寄贈対象】	【寄贈枚数】
第1回	2010年5月	バングラデシュ	難民キャンプ	3,000枚
第2回	2011年2月	カザフスタン	難民キャンプ	3,300枚
第3回	2011年9月	日本	東日本大震災被災地	1,000枚
第4回	2012年3月	中国	四川大地震被災地	2,200枚
第5回	2012年9月	モンゴル	生活困窮者の方々	2,000枚
第6回	2013年10月	ネパール	生活困窮者の方々	4,000枚
第7回	2014年10月	ミャンマー	生活困窮者の方々	4,000枚
第8回	2015年10月 2016年4月	ベトナム	生活困窮者の方々	4,000枚
第9回	2016年2月	ネパール	ネパール大地震被災地	2,000枚
第10回	2017年10月	インドネシア	生活困窮者の方々	4,000枚
第11回	2018年11月	インド	生活困窮者の方々	4,000枚
第12回	2019年10月	モンゴル	孤児院と 寄宿寮の子どもたち	4,000枚
第13回	2023年11月	ラオス	寄宿寮の子どもたちと 生活困窮者の方々	4,000枚
第14回	2024年11月	タジキスタン	生活困窮者の方々と 災害備蓄品	4,000枚
				累計 45,500枚

※第1回～第2回は「UNHCR」を通じて寄贈。第3回以降から「日本赤十字社」を通じて寄贈。